

ている。また電気学会が設置した送配電系統への雷害防止や工学的雷観測など数個の調査専門委員会において、

メンバーとして活躍した。特に宇宙開発事業団が1987年にロケット及び人工衛星打ち上げ時の雷対策技術委員会においては、北川会員は委員長として指導的な役割を果たした。すなわち同会員は、委員に電力系統、通信系統及び航空機の雷害対策に通暁する専門家、ロケット誘雷、雷放電機構、雷関連予報業務などの分野の指導的研

究者を網羅し、委員会の運営を行って適切な指針を樹立した。

以上北川会員が、雷現象の解明に果たしてきた研究業績、研究グループを組織・指導して人体への落雷の本質を明らかにした業績、雷に対する知識の普及と雷害防止対策樹立に貢献した諸活動は、藤原賞にふさわしいものとして日本気象学会は同会員に藤原賞を贈呈するものである。

1991年地球化学研究協会学術賞「三宅賞」の受賞候補者 および研究助成候補者の推薦依頼について

三宅泰雄教授退官記念事業として、設立された(1972)地球化学研究協会は、その翌年から、地学に顕著な業績をおさめた科学者に、毎年、地球化学研究協会学術賞「三宅賞」を贈呈しています。

さらに1983年からは、海外シンポジウム等に参加し、論文を発表する地球化学の若手研究者に対し、助成を行っています。

なお、賞金および助成金は本協会を母体として、1983年に新設された公益信託「地球化学研究基金」(受託者:東洋信託銀行株式会社)から贈られます。

つきましては、下記の要領により、受賞候補者および研究助成候補者のご推薦をお願いします。

記

三宅賞

1. 本賞は地球化学に顕著な研究業績をおさめた科学者に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞牌および賞金(30万円)をそえます。
3. 本賞の贈呈は、1年1件(1名)とします。
4. 規定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究題目、推薦理由(400字程度)主な論文10編程度に略歴をそえて、協会事務所までお送り下さい。

研究助成

1. 研究助成は地球化学の研究者で、海外のシンポジウム等に参加し論文を発表する者、ならびに海外における学術調査研究などに参加する者に対して行なわれます。
2. 助成金は1件10万円とし、年に3件とします。
3. 規定の用紙に推薦候補者(各締切日において満40歳までとする)のシンポジウム出席については略歴、研究業績、国際会議名(主催団体、開催場所、開催年月日)論文題目、推薦理由等を、海外学術調査に関しては、略歴、研究業績、調査地(国名、地域名)、調査目的・計画、推薦理由、同行者などを記入して、協会事務所までお送りください。

三宅賞の贈呈および研究助成者の発表は、1991年12月7日(土)、東京で行ないます。

申込締切日は、三宅賞は、1991年9月3日(火)、研究助成は、第1回締切1991年9月3日(火)、第2回締切1992年1月末日。

地球化学研究協会

〒166 東京都杉並区高円寺北4-29-2-271

電話 03-3330-2455

(FAX 兼用)